

## 令和5年度全国学力・学習状況調査結果

出水市教育委員会

## 1 実施の状況

## 【調査の目的】

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 【学力調査】令和5年4月18日(火)に実施

## ○ 教科に関する調査

- ・ 小学校第6学年(国語、算数)
- ・ 中学校第3学年(国語、算数、英語)

## 【児童生徒質問紙調査】令和5年4月18日(火)に実施

## ○ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

- ・ 小学校第6学年
- ・ 中学校第3学年

## 【学校質問紙調査】令和5年4月18日(火)に実施

## ○ 学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査

## 【実施校数】

小学校13校、中学校6校、義務教育学校1校 計20校

## 2 学力調査の結果

## (1) 小学校6年 平均正答数

## ① 国語

	出水市	鹿児島県	全国
令和5年度	9.0問/14問	9.4問/14問	9.4問/14問
【参考】令和4年度	9.2問/14問	9.3問/14問	9.2問/14問

## ② 算数

	出水市	鹿児島県	全国
令和5年度	9.3問/16問	9.8問/16問	10.0問/16問
【参考】令和4年度	9.8問/16問	10.1問/16問	10.1問/16問

(2) 中学校3年 平均正答数

① 国語

	出水市	鹿児島県	全国
令和5年度	10.3問/15問	10.5問/15問	10.5問/15問
【参考】令和4年度	9.2問/14問	9.7問/14問	9.7問/14問

② 数学

	出水市	鹿児島県	全国
令和5年度	7.1問/15問	7.2問/15問	7.6問/15問
【参考】令和4年度	6.3問/14問	6.6問/14問	7.2問/14問

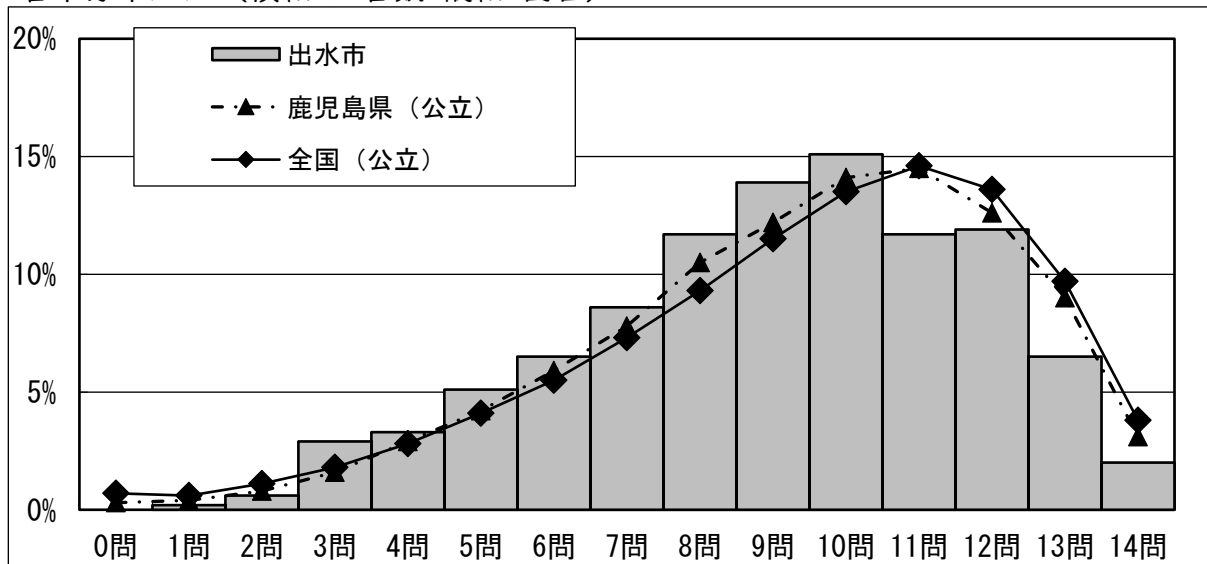
③ 英語(中学校英語は、前回実施が令和元年度)

	出水市	鹿児島県	全国
令和5年度	6.6問/17問	7.2問/17問	7.7問/17問
【参考】令和元年度	10.9問/21問	11.2問/21問	11.8問/21問

(3) 各教科及び児童生徒質問紙結果の概要及び考察

① 小学校国語

<正答率分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)>



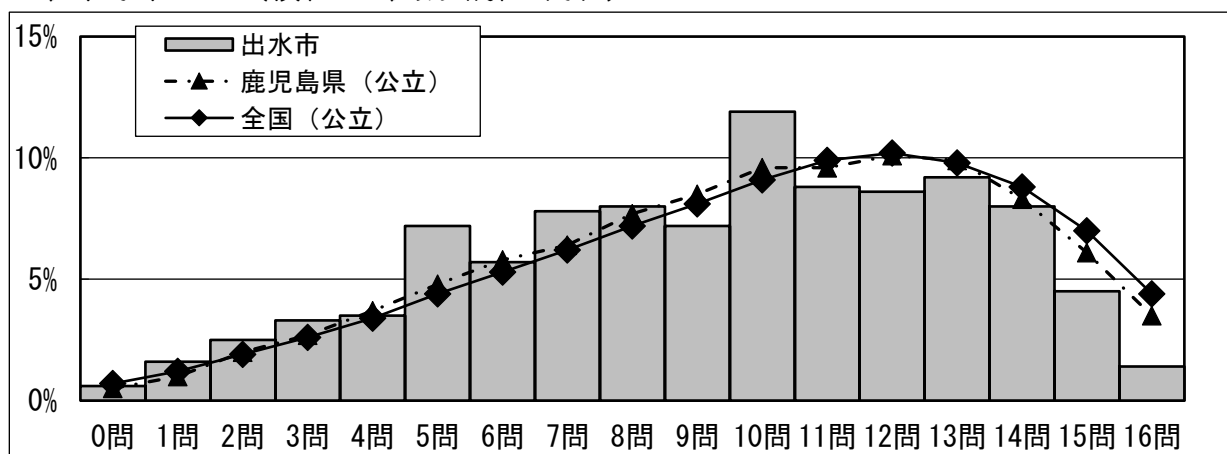
思考力、判断力、表現力等の「書くこと」に課題が見られる。

本調査の問題から「書くこと」に関して、学習指導要領における内容の「引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」に対応できていないことが分かる

そこで、授業においては、自分の考えを相手に分かりやすく伝えるために必要な情報を選び出し、それらを用いて、書き表し方を工夫することができるようにすることが求められる。そのために、事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く言語活動に取り組む必要がある。

## ② 小学校算数

<正答率分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)>

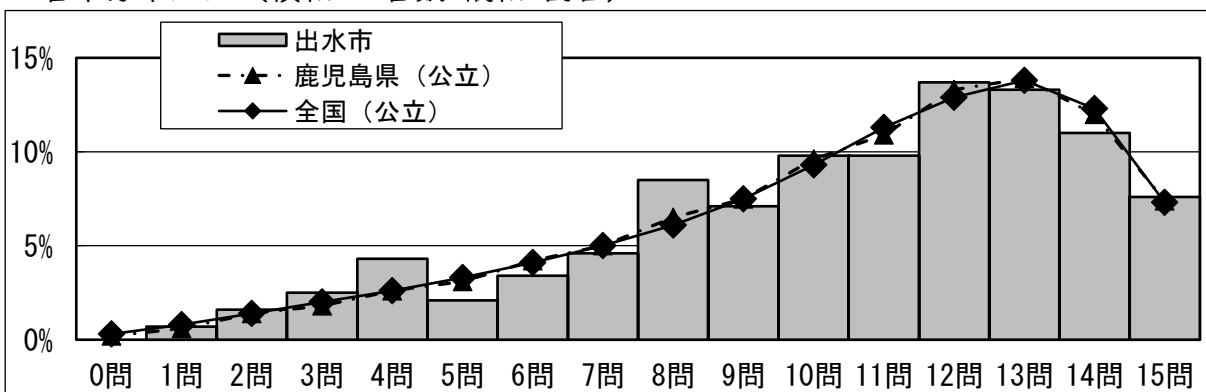


「図形」領域においては具体的な操作活動を伴う数学的活動を取り入れ、図形の意味や性質について実感を伴いながら理解できるような工夫が必要である。さらに、図形を構成する要素などに着目して基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式に導く活動も重視し、単に公式を覚えさせるような指導で終始しないようにする必要がある。

また、「数と計算」領域における、思考力、判断力、表現力等に関する問題に課題が見られる。計算の意味や計算の仕方を考える、計算に関して成り立つ性質を見いだす、その性質を活用して計算を工夫する、などの数学的活動の充実が必要である。

## ③ 中学校国語

<正答率分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)>

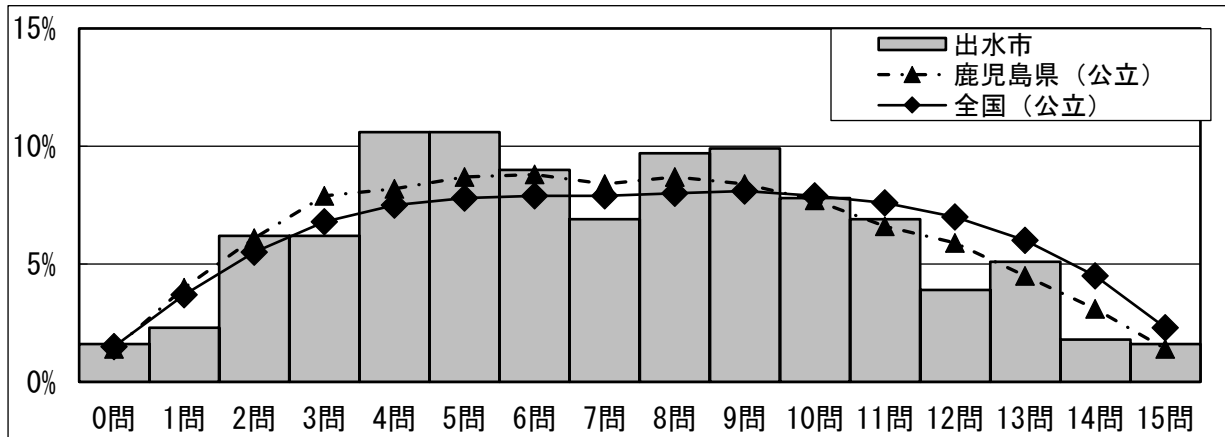


説明的な文章を読む(「読むこと」)問題において、観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることができるかどうかをみる問題に課題が見られた。また、レポートを書く問題(「書くこと」)において、読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみることも課題が見られる。

このことから、「読むこと」を扱う際には、観点を明確にして複数の文章を比較しながら読んだり、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付けたりすることで、物事に対する新たな視点をもてるようにすることが大切である。また、「書くこと」では、実際に文章を書く活動を多くすることが必要である。その際、生徒が日常の各活動に生かすことを意識しながら学習できるように指導することが重要である。また、読み手の立場に立って、語句の用法や叙述の仕方などを確かめたり、具体と抽象など情報と情報との関係に注意したりしながら文章を整えるということ意識して書かせる指導が重要である。

#### ④ 中学校数学

<正答率分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)>

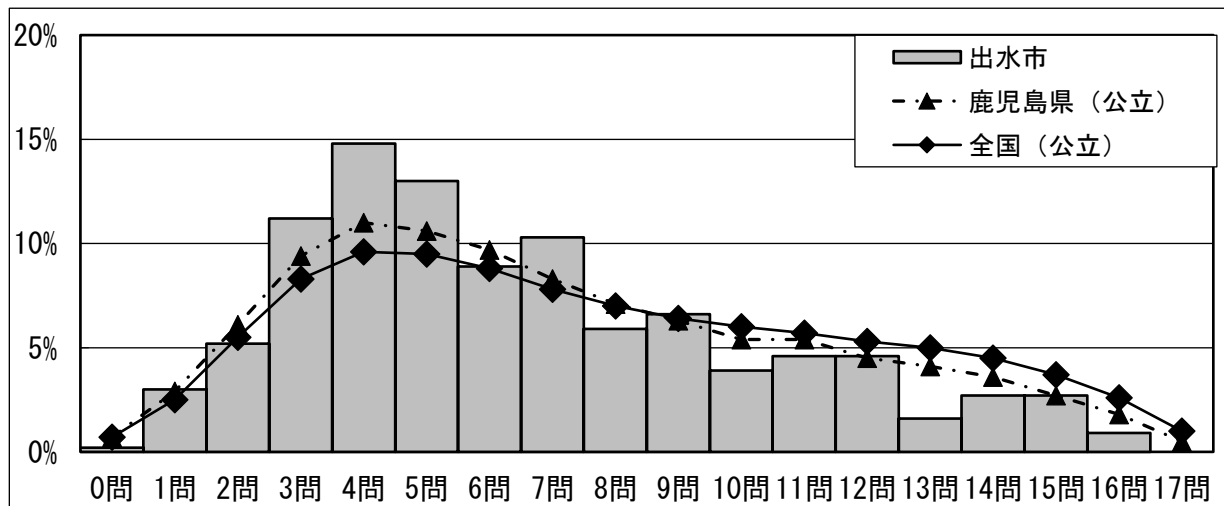


「図形」に関する問題において、ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみることに課題が見られる。そこで、図形の性質を考察する場面では、予想した事柄について成り立つ理由を、筋道を立てて考えたり、問題解決の過程を振り返って本質的な条件を見いだしたりする数学的活動を取り入れることが重要である。

また、伴って変わる二つの数量の変化や対応の様子に着目し、比例や反比例という関数関係を見いだすことに課題が見られた。図形に関する問題でも、知識及び技能を問う問題で課題が見られた。基本的な知識及び技能を定着させる指導の工夫が必要である。

#### ⑤ 中学校英語

<正答率分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)>



文章の要点を捉えて、それに対する自分の考えとその理由を書く、文法事項や言語の働きなどを理解して正確に書くという問題において、課題が見られた。

授業改善として、文章の要点を捉えることができるようにするためには、最も重要な部分を読み取る方法を指導することや、文章全体を読み通した上で、複数の情報を取り出し、どの情報とその説明の中で最も重要であるかを判断する言語活動に取り組みさせることが重要である。また、自分の考えとその理由を書くことができるようにするためには、自分の意見や主張とその理由や根拠の関係を明確にしたり、内容を整理して述べたりすることなど、論点を明らかにしたり、順序付けを行ったりすることにより、読み手にとって分かりやすい文章を書くことを意識させることが重要である。

## ⑥ 児童生徒質問紙全般について

### 【県や全国を上回った項目】

- 先生は、あなたのよいところを認めてくれる。
- 先生は授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。
- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
- 家で自分で計画を立て勉強をしている。
- 読書が好きである。(小学校のみ)
- 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う。
- 学校の授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっている。
- 国語の勉強は好きである。(小学校のみ)
- 算数・数学の勉強は好きである。

### 【県や全国を下回った項目】

- 自分にはよいところがあると思う。
- 読書が好きである。(中学校のみ)
- 外国人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたい。(中学校のみ)
- 英語の勉強は好きである。(小学校のみ)
- 英語の勉強は大切だと思う。

出水市の児童生徒は、教師からの承認を感じていたり、教師の関わり方に対しては満足したりしていることが分かる。また、自己調整しながら学ぼうとしている姿勢や学習環境への満足度が見られる。このような強みを生かし、自分で計画を立てる活動や自己決定する場面をさらに充実させ、学びに向かう力を高めていくことで、思考力、判断力、表現力等の発揮や知識・技能の獲得にもつながっていくものと考えられる。

一方で、自己肯定感については継続して低い傾向が見られる。また、英語の学習に対する苦手意識や学習意欲の低さが見られる。教師からの承認は感じているものの、自己肯定感の高まりまでつなげられていないことから、「分かる」「できる」といった自己有能感だけでなく、「役に立っている」「自分の存在はみんなにとって必要だ」という自己有用感を高められるような協働的な学び合いの場を充実させることが必要であると考えられる。また、英語の学習に対しての苦手意識が見られ、外国の方との交流に対して自信をもつことができないのではないかと考えられる。